

## 刈谷市の公共施設連絡バス



# かりまるに ロゴ入った

刈谷市による公共施設連絡バスの愛称公募で、採用作品「かりまる」を寄せた三人への表彰式と、地元の大學生が考案した「かりまる」のロゴデザインのお披露目が十九日、同市のウイングアリーナ刈谷であった。四月以降、車体の四方所にロゴが入った新デザインのバスが街を巡る。

(神谷慶)

市が昨年八月に愛称を募 香理さん(三巴)刈谷市一ツ集し、応募作は三百二十三 木町、尾崎麻衣子さん(三三)点。「かりまる」は富川友 同市今川町、杉浦真由美

バス前部のロゴを眺める  
愛称「かりまる」の提案  
者と家族 刈谷市のウイ  
ングアリーナ刈谷で

さん(三三) 知立市上重原町  
がそれぞれ寄せた。

この愛称をテーマに、市は愛知教育大にロゴデザインの協力を依頼。学生から集まった十七作を市都市交通協議会バス専門部会が審査し、三年生の牧野英有子さんの作品が選ばれた。地域を回ってつなぐバスの役割から、文字をつなげて、バスの形をイメージしたデザインに仕上げている。

竹中良則市長が愛称の提案者とその家族に表彰状を授与。代表して尾崎さんが「刈谷市の『かり』とご縁の『円』を掛けて命名した。乗り合わせた方との縁に幸せを感じることでできるバスであり続けてほしい」とあいさつした。

バスは一九九七年に試行運行を始め、四年後に本格運行。現在六路線があり、無料で乗れる。市は所要時間の短縮や遅延解消を目的に四月一日から路線とダイヤを改正する。